

学校法人近畿大学の開発供給実施計画の概要

中山間地域等の果樹園で利用可能な自動灌水制御システム

2026年5月認定

<取組概要>

中山間地域等の果樹園を対象に、通信環境が整っていない地域であっても利用可能な広域無線通信を活用し、AIで灌水判断や収穫予測を行い、省力化・生産性向上に寄与する自動灌水制御システムの開発及び供給

<申請者名（代表者）>

学校法人近畿大学

<計画の実施期間>

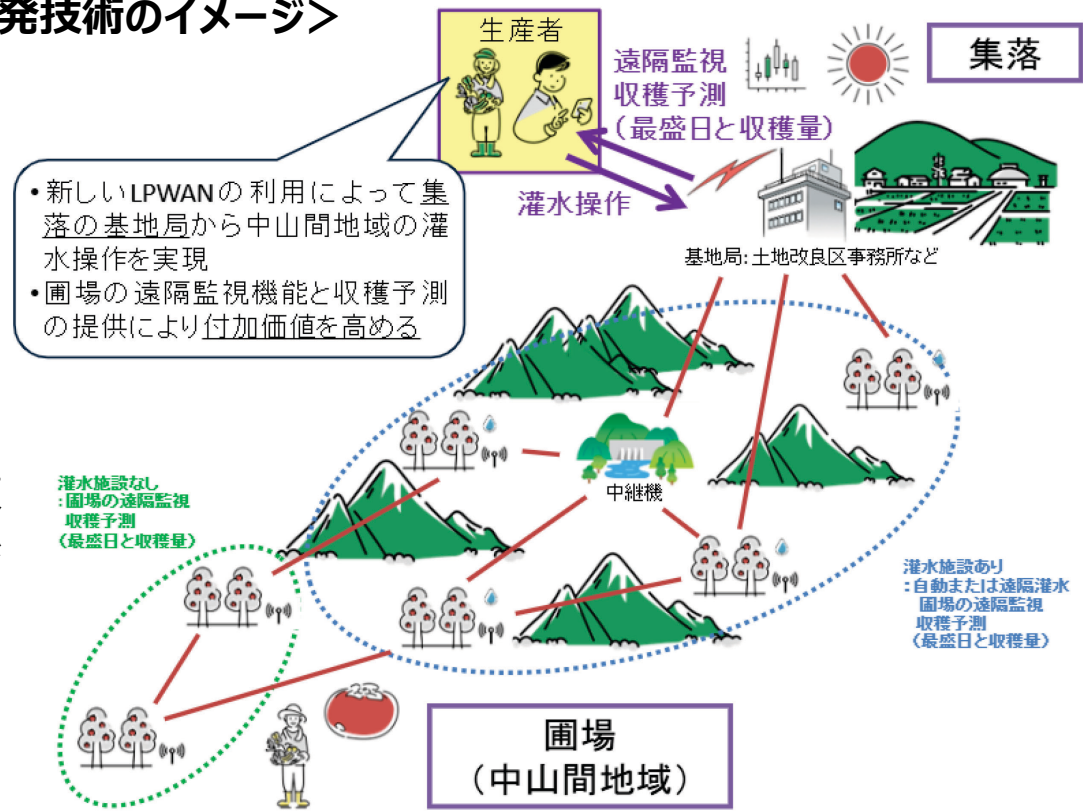
5年間

<本技術による生産性向上の効果>

・「農作業共通」のうち「自動制御技術や遠隔操作技術を用いた既存の農業機械等の操作の省力化に係る技術」により労働時間40%削減に資する技術

果樹園の灌水管理を遠隔監視し自動制御することによる労働時間の削減

<開発技術のイメージ>



栽培地域をカバーする通信ネットワークを構築し、灌水の遠隔制御を実現するとともに、園地ごとのデータを収集・活用することで、生産性の向上を図る。